

第2部 中央市の地域特性に関する基礎調査

第1章 地域特性

1 位置・地勢

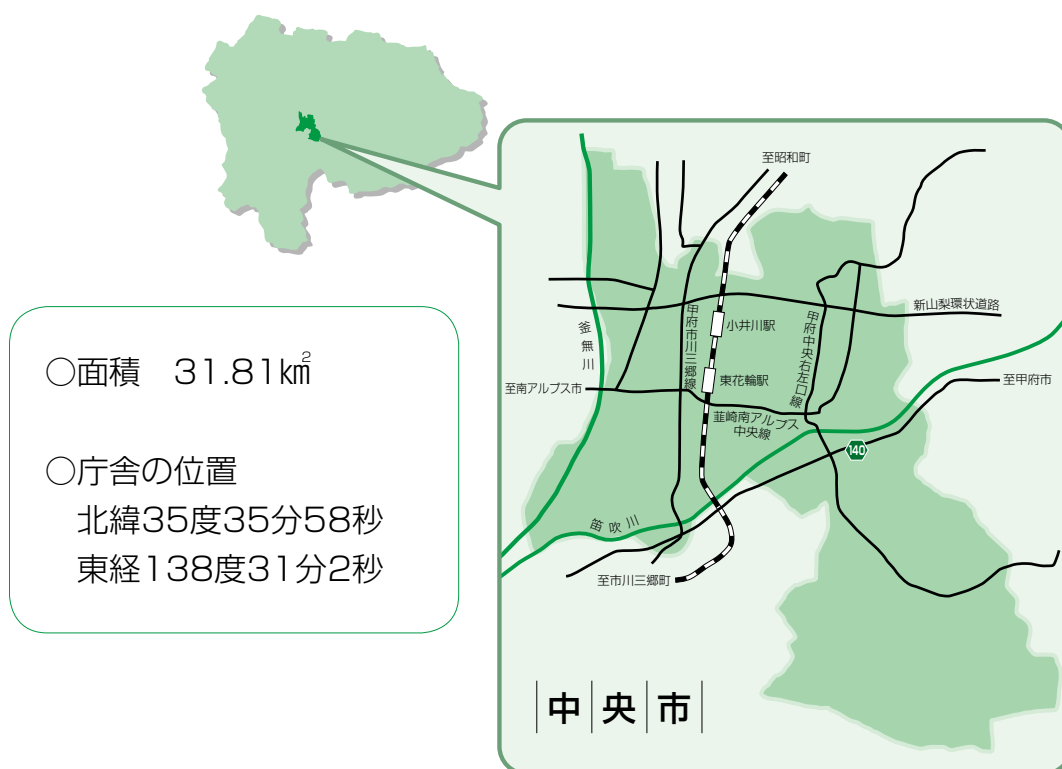
本市は甲府盆地の南西に位置し、東は甲府市に、北はＪＲ身延線、昭和バイパスを境に昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は市川三郷町に接しています。東京都心からの距離は概ね120kmです。

釜無川により形成された沖積平野の地域と御坂山系からなる地域との二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。平坦部は玉穂、田富の2地区が笛吹川と釜無川に挟まれた形で位置しており、豊富は山間部に広がる地域となっています。

交通面ではＪＲ身延線が玉穂、田富地区の中間を南北に走っており、それに並行して主要地方道甲府市川三郷線が通っています。また、玉穂地区から豊富地区にかけて甲府中央右左口線が通っており、笛吹川に沿って走る国道140号線と交差しています。

本市の総面積は、31.81km²で、山梨県全体の0.71%を占めています。

■図2-1-1 中央市の位置

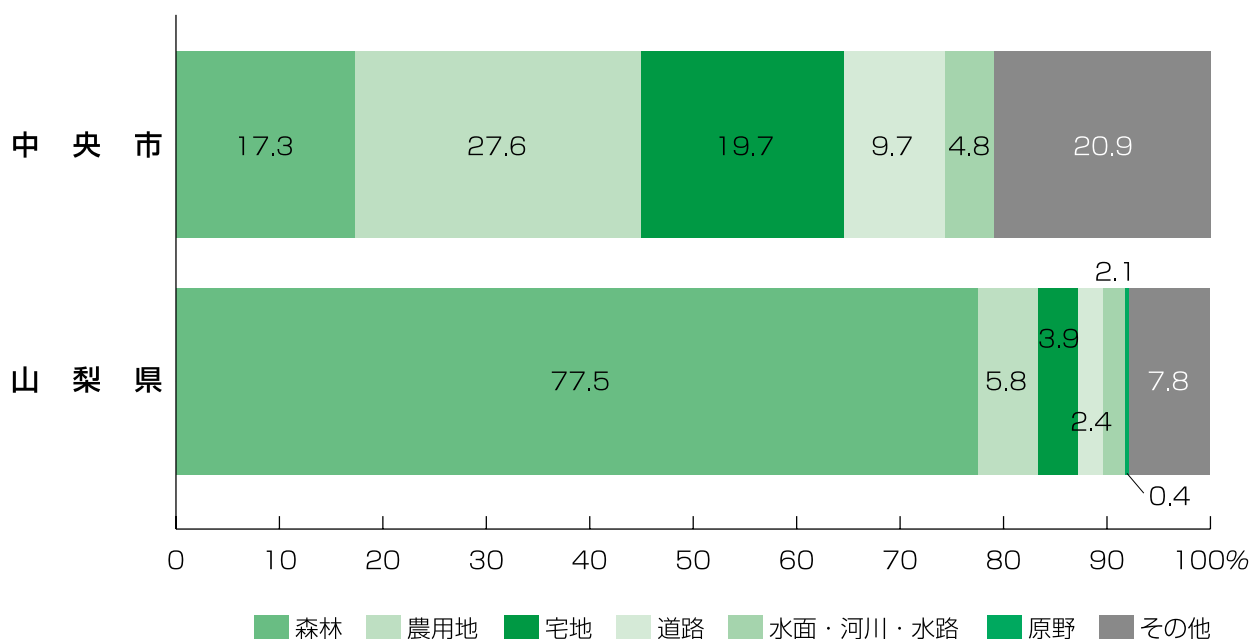


2 土地利用の現況

本市の土地利用状況を構成比で見ると、「農用地（27.6%）」が最も多く、次いで「その他（公共公益施設等）（20.9%）」、「宅地（19.7%）」、「森林（17.3%）」となっています。

県全体との比較で見ると、森林の割合は低く、農用地、宅地の割合が高くなっており、居住や産業に利活用されている平坦地が多いことが分かります（図2-1-2）。

■図2-1-2 土地利用の現況



出典：平成17年土地利用現況調査

3 森 林

本市の地形はほとんどが平地で、森林の地域は市の南部に位置し、その占める割合は約17%となっています。県全体の森林割合が約78%であることを考えると、本市の森林割合が少ないことが分かります。県内では昭和町に次いで2番目に森林面積及び割合が少ない市町村です。

■表2-1-1 森林の面積（森林割合の多い順）

No.	市町村	総面積（ha）	森林面積（ha）	割 合（％）
1	丹 波 山 村	10,155	9,872	97.2
2	早 川 町	36,986	35,447	95.8
3	小 菅 村	5,265	4,934	93.7
4	道 志 村	7,957	7,447	93.6
5	南 部 町	20,063	17,653	88.0
6	大 月 市	28,030	24,321	86.8
7	鳴 沢 村	8,956	7,762	86.7
8	鰍 沢 町	4,681	3,972	84.9
9	都 留 市	16,158	13,616	84.3
10	上 野 原 市	17,065	13,995	82.0
11	山 梨 市	28,987	23,683	81.7
12	身 延 町	30,200	24,350	80.6
13	甲 州 市	26,401	21,141	80.1
14	増 穂 町	6,517	5,195	79.7
15	西 桂 町	1,518	1,207	79.5
16	北 杜 市	60,289	45,910	76.1
17	南アルプス市	26,406	19,331	73.2
18	富士河口湖町	15,851	11,482	72.4
19	富士吉田市	12,183	8,518	69.9
20	韮 崎 市	14,373	9,259	64.4
21	市 川 三 郷 町	7,507	4,830	64.3
22	甲 府 市	21,241	13,633	64.2
23	笛 吹 市	20,192	11,835	58.6
24	山 中 湖 村	5,281	3,032	57.4
25	忍 野 村	2,515	1,353	53.8
26	甲 斐 市	7,194	3,152	43.8
27	中 央 市	3,181	552	17.4
28	昭 和 町	915	0	0.0

出典：平成18年度山梨県林業統計書

■表2-1-2 林種別森林面積

市町村	総面積	森林面積 合計	国有林	県有林	民有林
山梨県	446,537	347,482	4,648	153,291	189,543
中央市	3,181	552	0	186	366

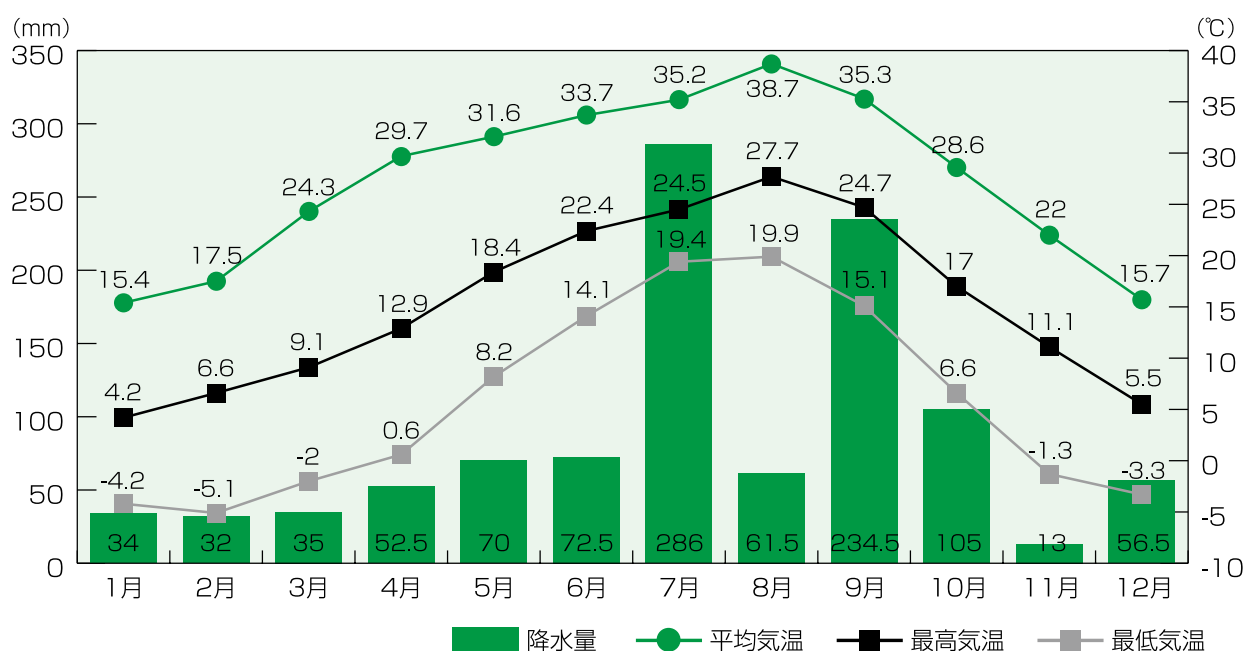
出典：平成18年度山梨県林業統計書

4 気 象

(1) 気温と降水量

平成19年の甲府地方気象台（山梨県甲府市飯田4-7-29）の観測値によると、最高気温は8月の38.7℃、最低気温は1月の-4.2℃と1年を通じて寒暖の差が激しくなっています。また、降水量は7月が286mmと最も多く、次いで9月の234.5mm、10月の105mmとなっています。それ以外の月は冬場を中心に比較的降水量は少ない状況です。

■図2-1-3 平成19年甲府地方気象台観測値（気温・降水量）



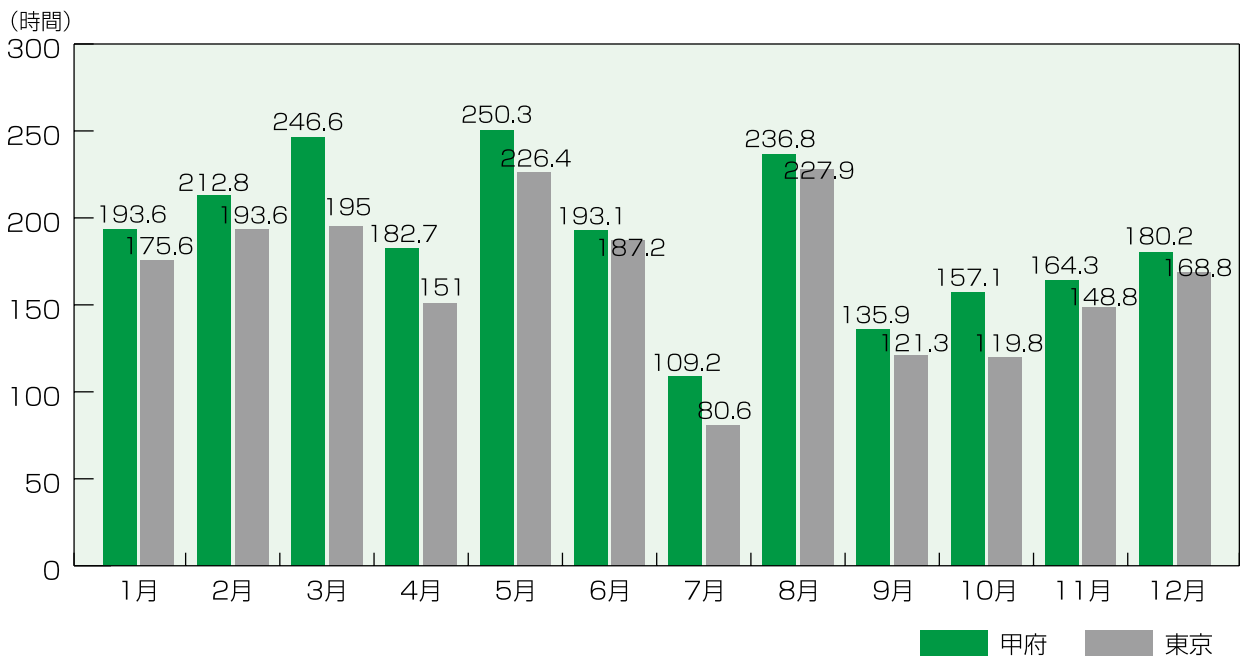
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量 (mm)		34	32	35	52.5	70	72.5	286	61.5	234.5	105	13	56.5
気温 (℃)	平均	4.2	6.6	9.1	12.9	18.4	22.4	24.5	27.7	24.7	17	11.1	5.5
	最高	15.4	17.5	24.3	29.7	31.6	33.7	35.2	38.7	35.3	28.6	22	15.7
	最低	-4.2	-5.1	-2	0.6	8.2	14.1	19.4	19.9	15.1	6.6	-1.3	-3.3

出典：甲府地方気象台

(2) 日照時間

平成19年の甲府地方気象台の観測値によると、2月、3月、5月、8月の日照時間は200時間を越えて長くなっています。一方、7月（109.2時間）、9月（135.9時間）は比較的日照時間が短くなっており、これは降水量が多かったことによると考えられます。東京と比較した場合、1年間を通じて本地域の日照時間が長いことが分かります。これはこの地域の特徴のひとつに挙げられ、今後、新エネルギー活用の検討を進めるうえで、太陽光利用の可能性が考えられます。

■図2－1－4 平成19年甲府地方気象台観測値（日照時間）

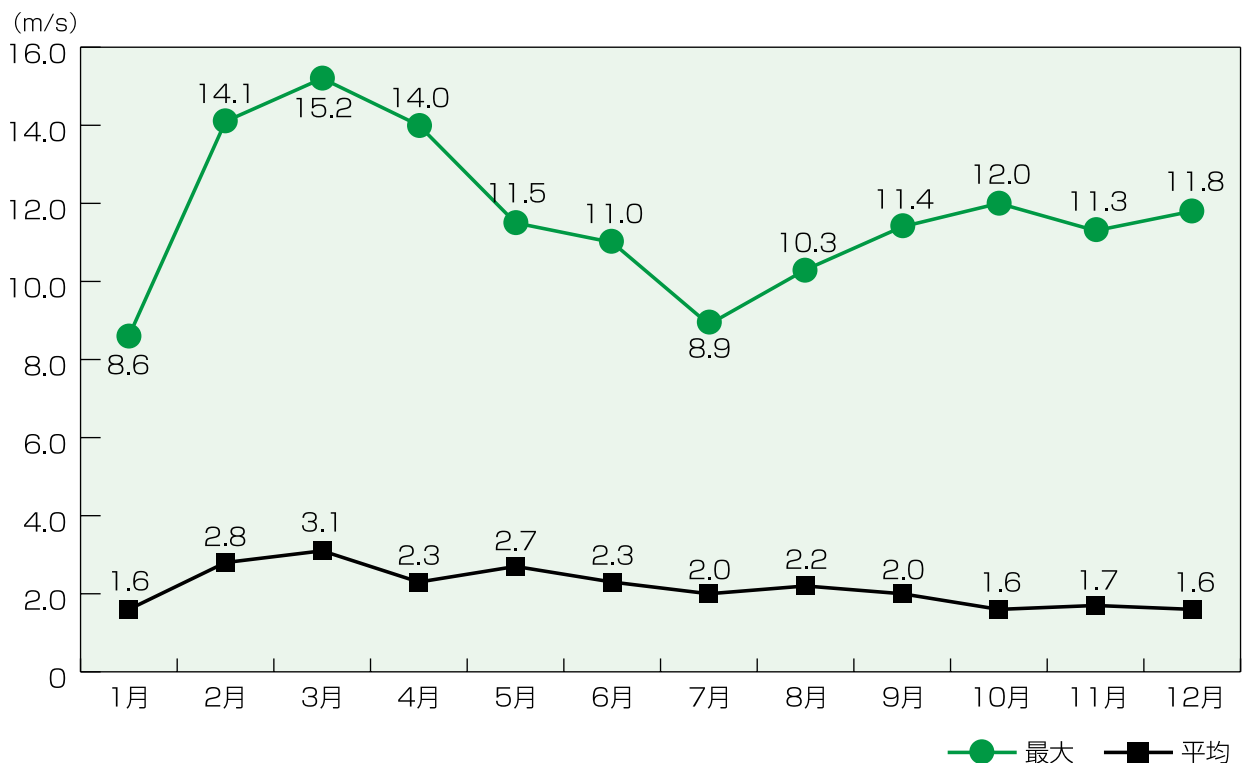


出典：甲府地方気象台

(3) 風 況

平成19年の甲府地方気象台の観測による風速は、平均で1.6～3.1m/sと比較的穏やかな状況です。また、NEDO技術開発機構の風況マップによる本市周辺の平均風速は、概ね3 m/s 前後となっており、市内で最も風速が強い南部の山間地域でも4～5 m/s となっています。一般的に風力発電は平均風速5 m/s以上の風が必要（小風力は2～3 m/sでも可）とされることから、本格的な風力発電の利用は困難であると思われます。

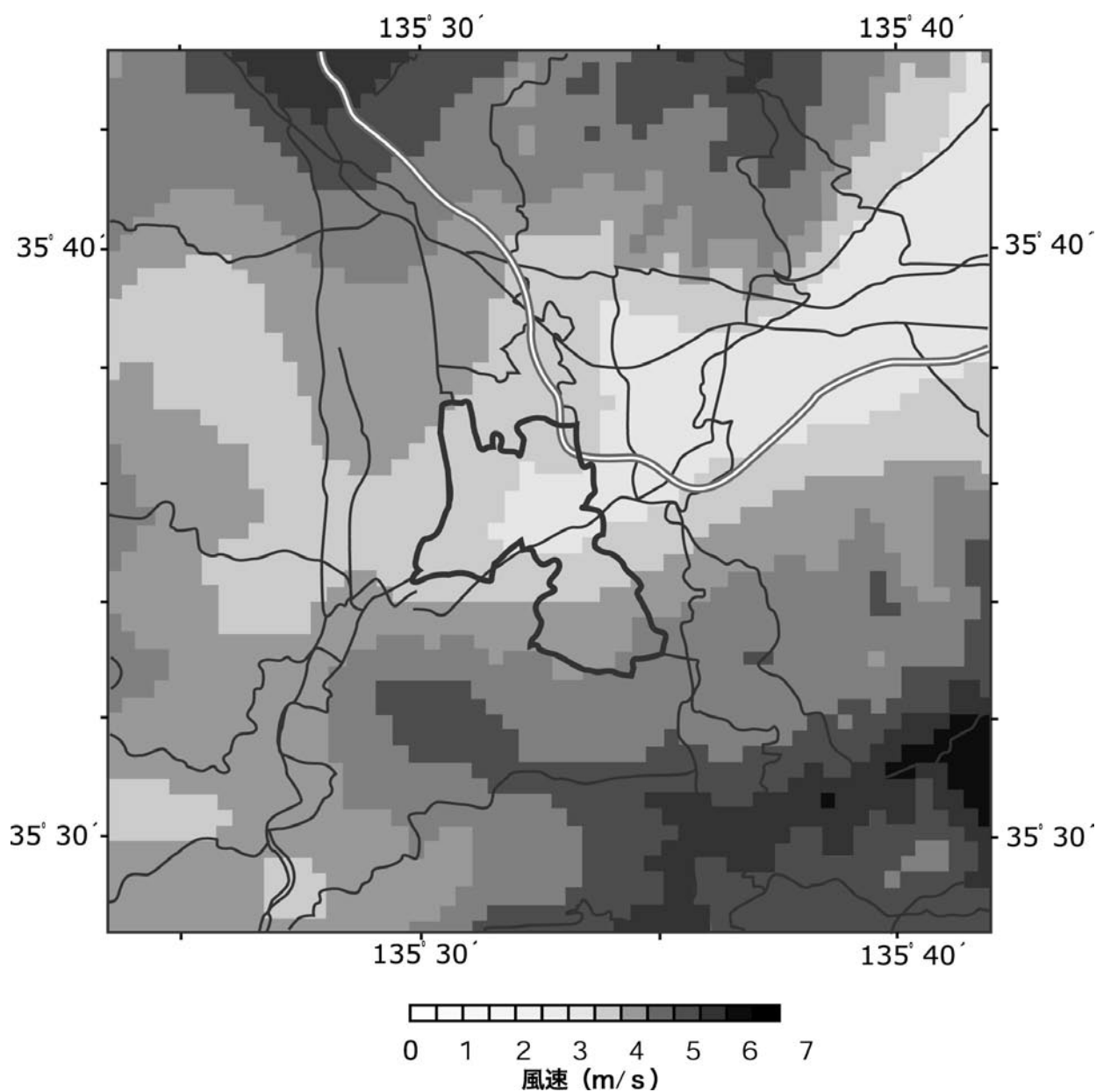
■図2－1－5 平成19年甲府地方気象台観測値（最大・平均風速）



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風向・風速 (m/s)	平均	1.6	2.8	3.1	2.3	2.7	2.3	2.0	2.2	2.0	1.6	1.7	1.6
	最大	8.6	14.1	15.2	14.0	11.5	11.0	8.9	10.3	11.4	12.0	11.3	11.8

出典：甲府地方気象台

■図2-1-6 NEDO技術開発機構・風況マップ（計測地点地上高30m）



出典：NEDO技術開発機構の資料をもとに山梨総合研究所が修正

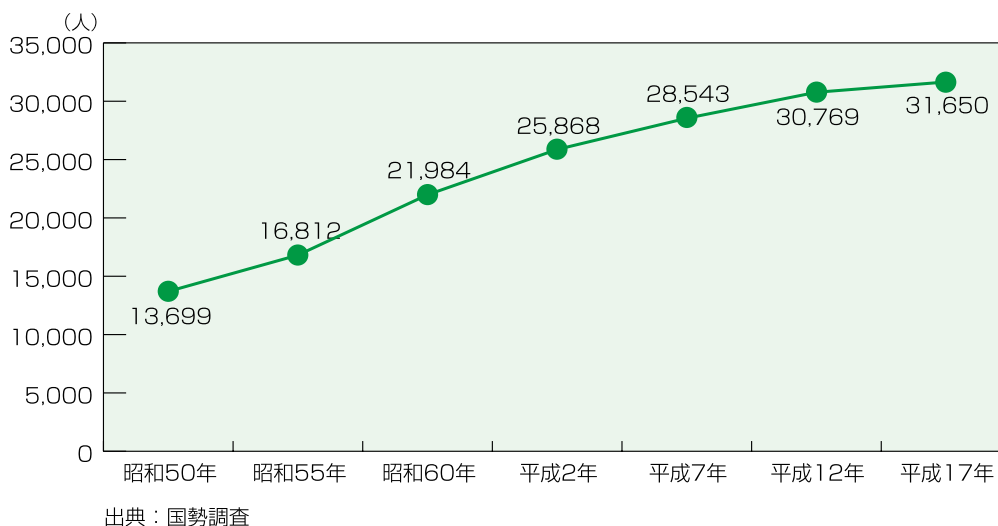
5 人 口

(1) 人口の推移と区分別人口

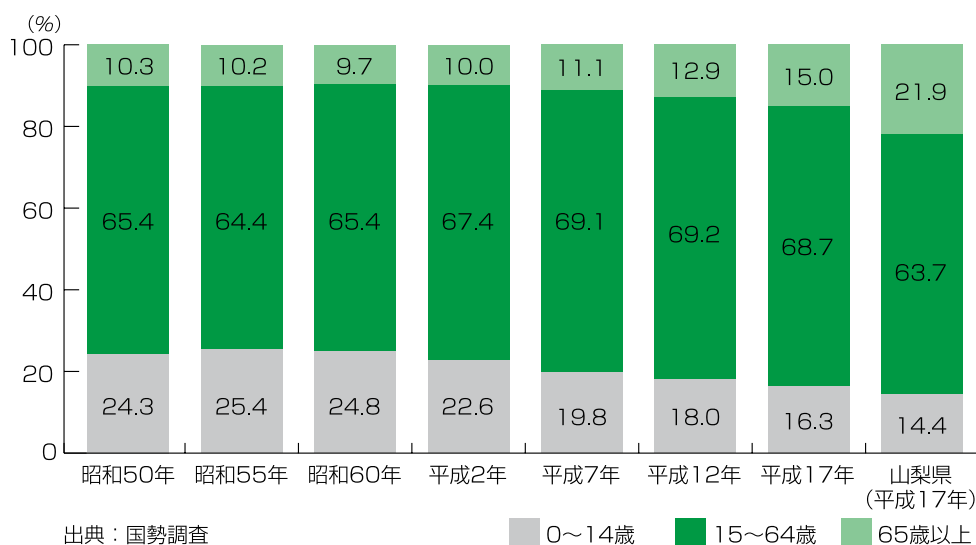
本市の人口は、平成17年の国勢調査では31,650人と平成12年と比較して2.9%の増加傾向にありますが、その伸び率は年々低くなってきており、頭打ちの状況となっています。

年齢3区分別人口割合の推移を見ると、本市は65歳以上の「高齢者人口」の割合は15.0%で、県平均の21.9%に比べて低く、若い世代が多い地域です。しかし、低い傾向にはあるものの、「高齢者人口」の割合は年々増加しています。同時に、0～14歳の「年少人口」の割合は減少傾向にあり、少子高齢化が進展していることが分かります。

■図2-1-7 人口の推移



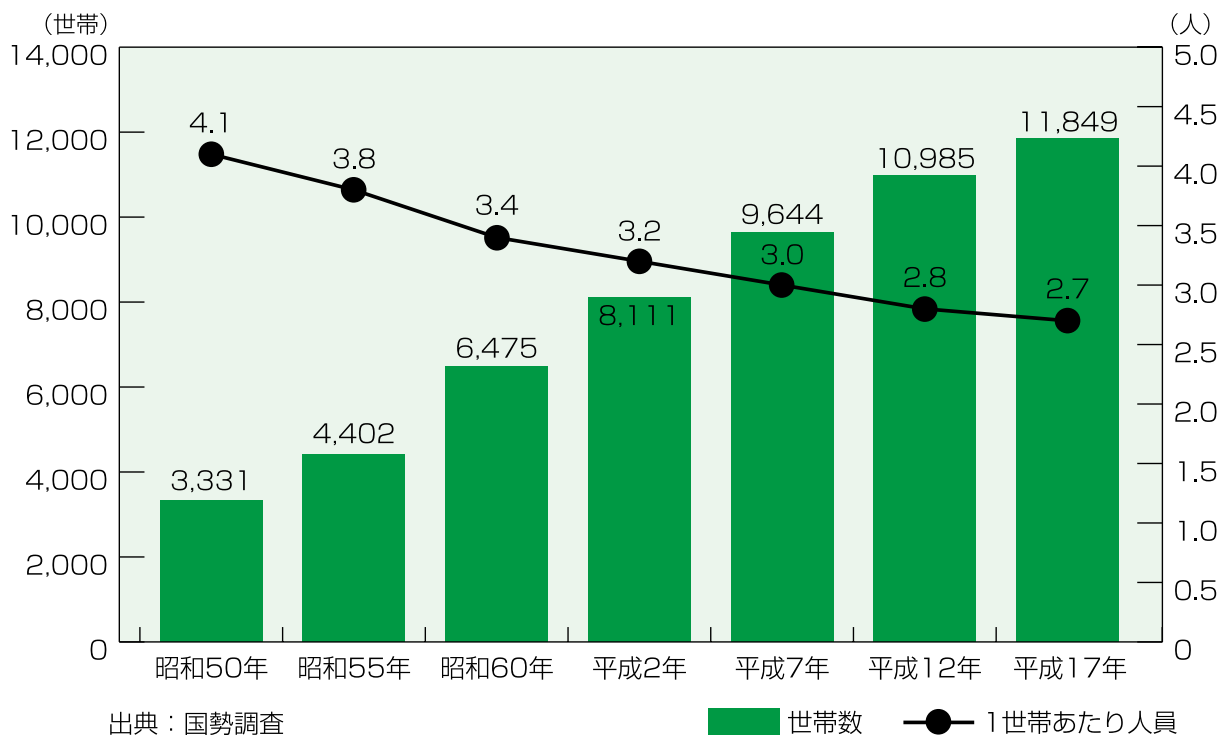
■図2-1-8 年齢3区分別人口の推移



(2) 世帯数の推移

世帯数は年々増加するとともに、一世帯当たりの人員は減少傾向にあり、県内各市町村と同様、核家族化が進行している状況にあります。

■図2-1-9 世帯数の推移



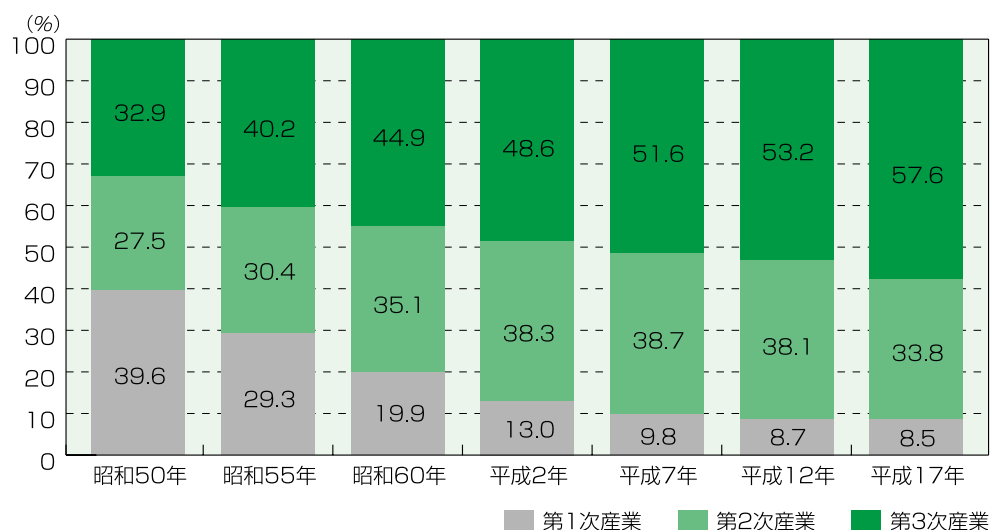
6 産 業

(1) 産業一般

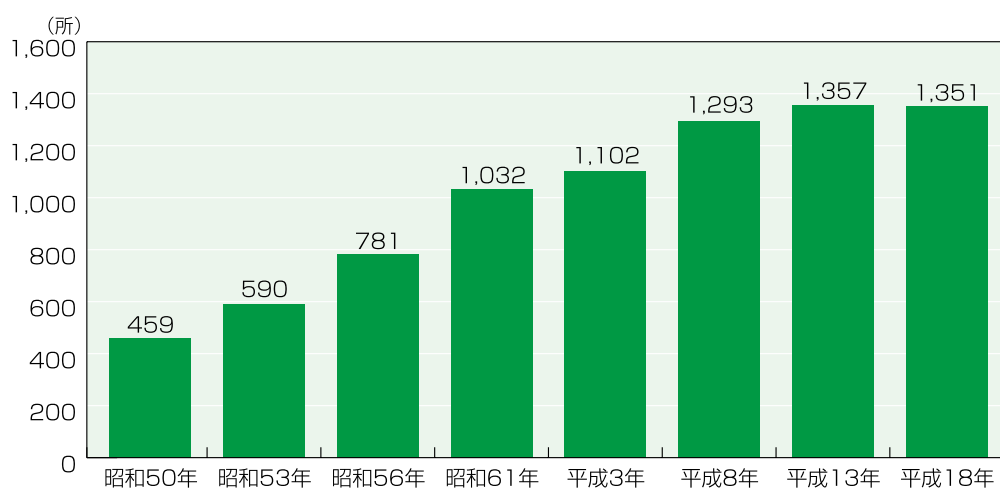
本市の産業別就業人口の構成比の推移は、第3次産業が増加する一方で、第1次産業は減少傾向にあり、第2次産業は平成7年まで増加していたものの、近年は減少に転じています。また、昭和50年には第1次産業の割合が40%近くありましたが、年々低下して平成7年に10%を切り、その代わり第3次産業が全体の半数を超えるようになりました。

事業所の立地状況をみると、平成13年まで増加傾向にありましたが、平成18年には若干減少しています。

■図2-1-10 産業別就業人口の推移



■図2-1-11 事業所総数の推移

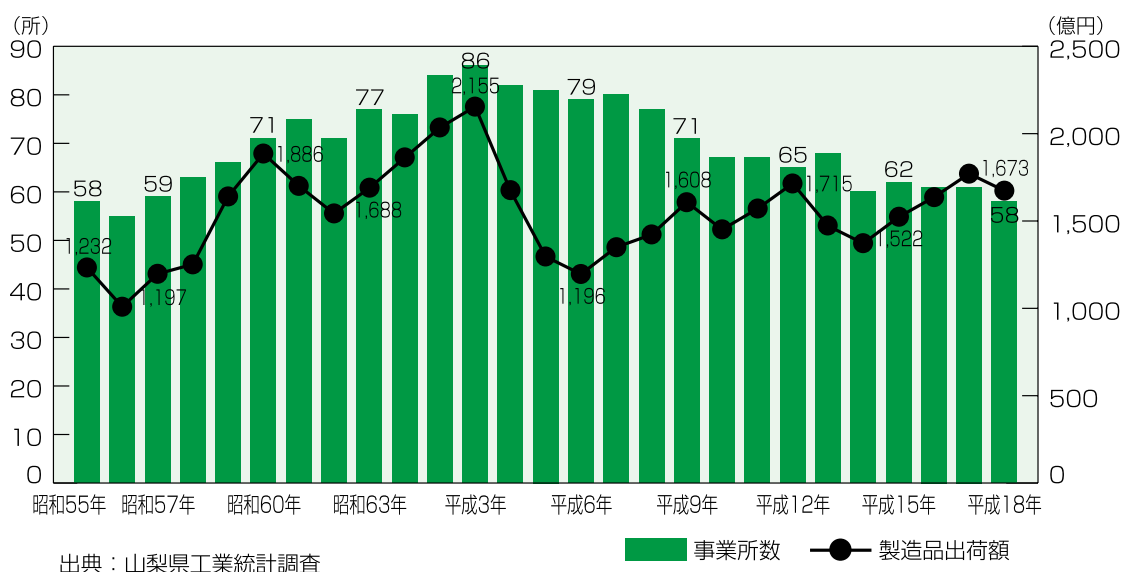


(2) 商工業

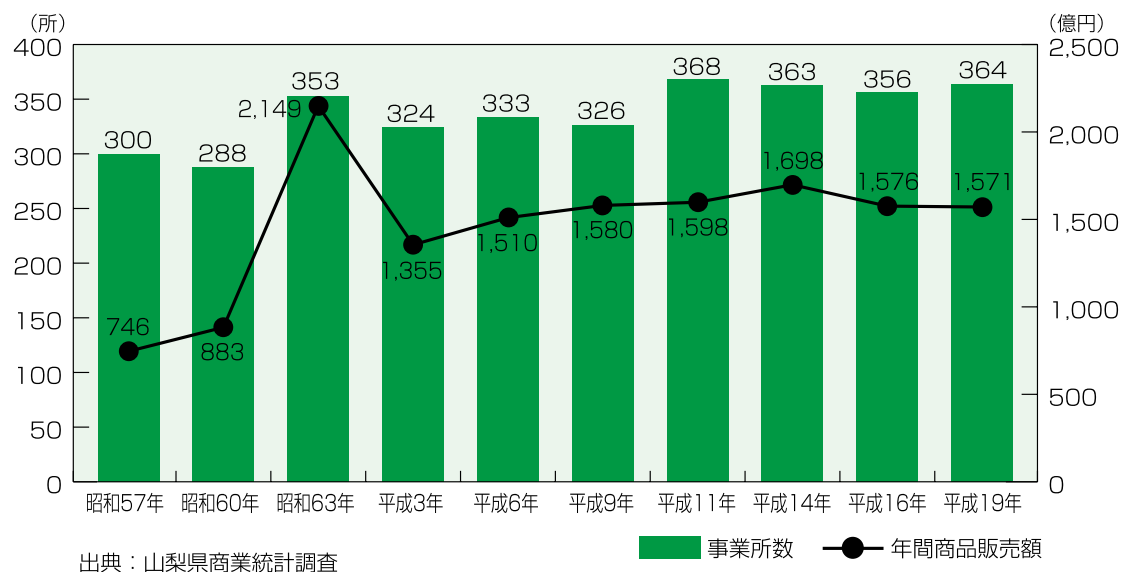
製造業では、事業所数は平成3年をピークに減少傾向にあり、製造品出荷額等※は平成6年まで減少傾向にありましたが、その後は多少持ち直しつつあります。

また、商業関係の事業所数は、昭和63年から伸び悩みの状況にあります。一方、年間商品販売額は昭和63年に大幅に増え、その後減少して横ばいの状態が続いています。これは昭和62年に甲府リバーサイドタウンに大型ショッピングセンターができたためと考えられます。

■図2-1-12 製造品出荷額等の推移



■図2-1-13 年間商品販売額等の推移



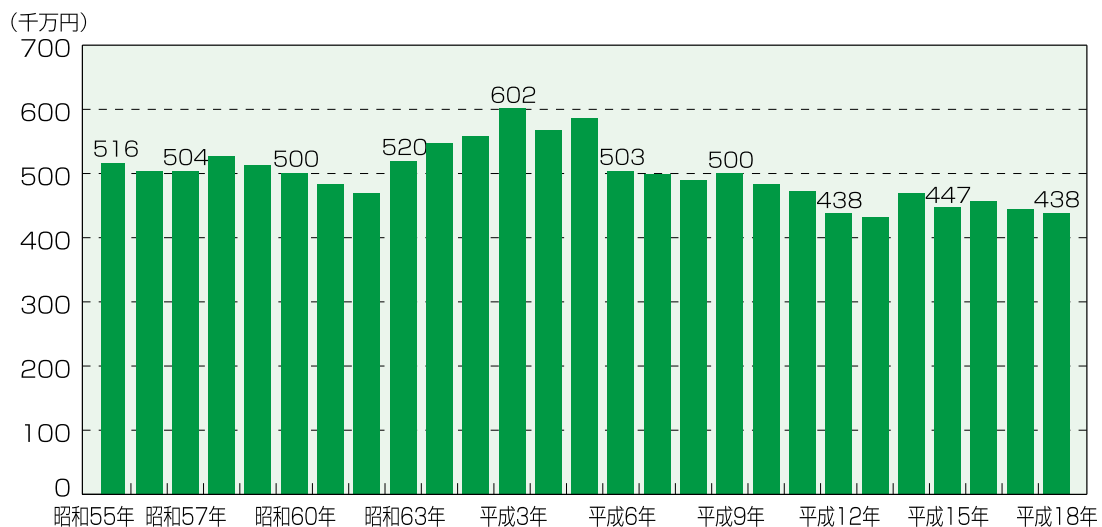
※ 1年間の製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額及びその他（冷蔵保管料、新聞広告料、製造工程から出たくず、廃物等）の収入額の合計を言います。

(3) 農 業

農業では、農業産出額※が平成3年をピークにやや減少傾向が見られましたが、ここ数年は横ばいの状態で推移しています。農業産出額を種別にみると、野菜（49.8%）の割合が高く、次いで、畜産（17.8%）、花き（13.5%）、果実（9.6%）の順となっています。

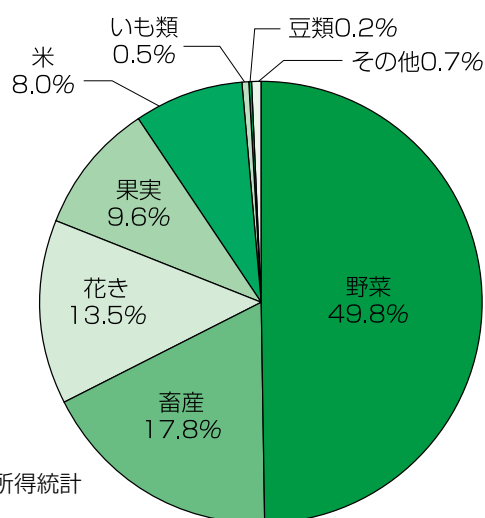
また、耕作放棄地の面積は平成7年にかけて増加傾向にありましたが、平成7年以降は横ばいの状態で76haにとどまっています。しかし、経営耕地面積の減少に伴い、耕作放棄率は上昇しています。

■図2-1-14 農業算出額の推移



出典：農林水産相生産農業所得統計

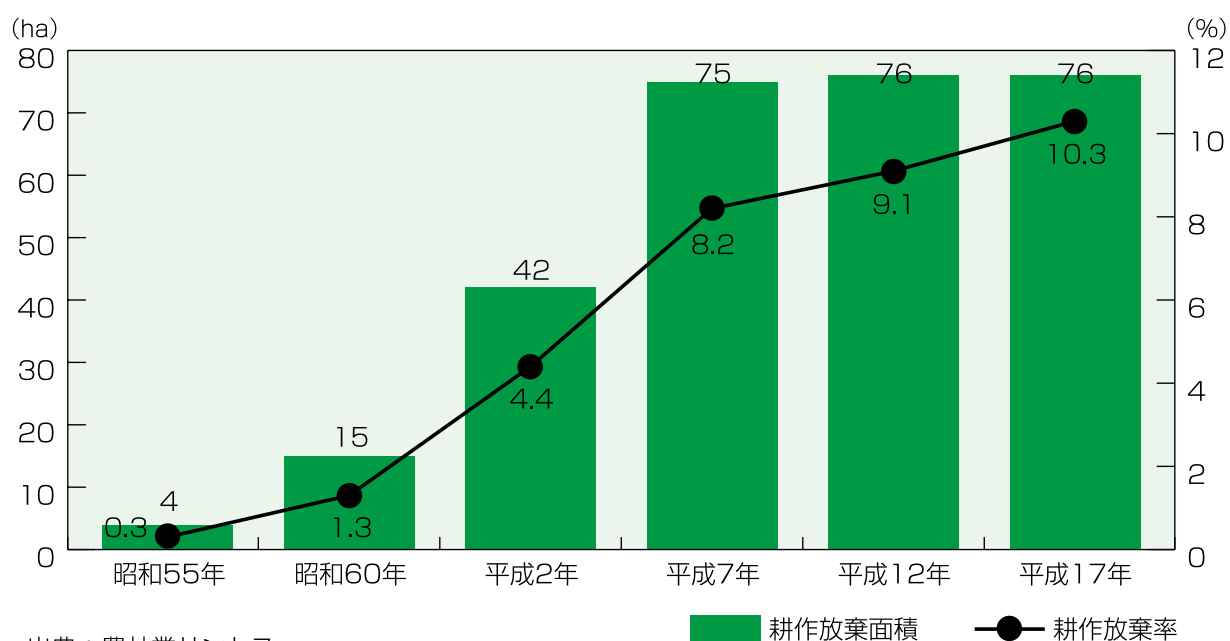
■図2-1-15 農業物の種別



出典：平成18年生産農業所得統計

※ 農家の人が稲作、野菜栽培、養蚕、畜産などの農業生産によって得られた農畜産物と、その農畜産物を原料として作られた加工農産物を販売して得た利益額のことを言います。

■図2-1-16 耕作放棄地面積等の推移



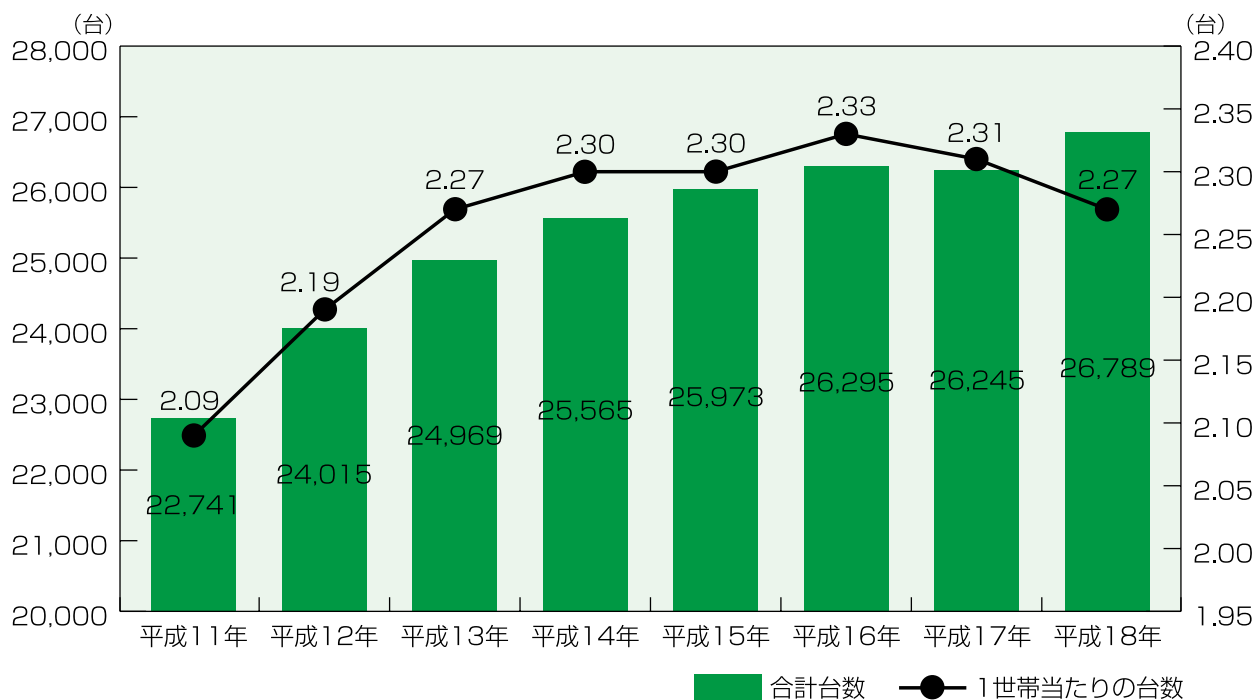
出典：農林業サンセス

{耕作放棄率 = 耕作放棄面積 ÷ (経営耕地面積 + 耕作放棄面積)}

7 自動車登録台数

自動車の登録台数について、平成17年には若干減少していますが、それ以外は増加傾向にあります。また、一世帯当たりの保有台数は、平成16年を境に減少していますが、これは世帯数の増加によるものと考えられます。

■図2-1-17 自動車登録台数の推移（二輪車は除く）



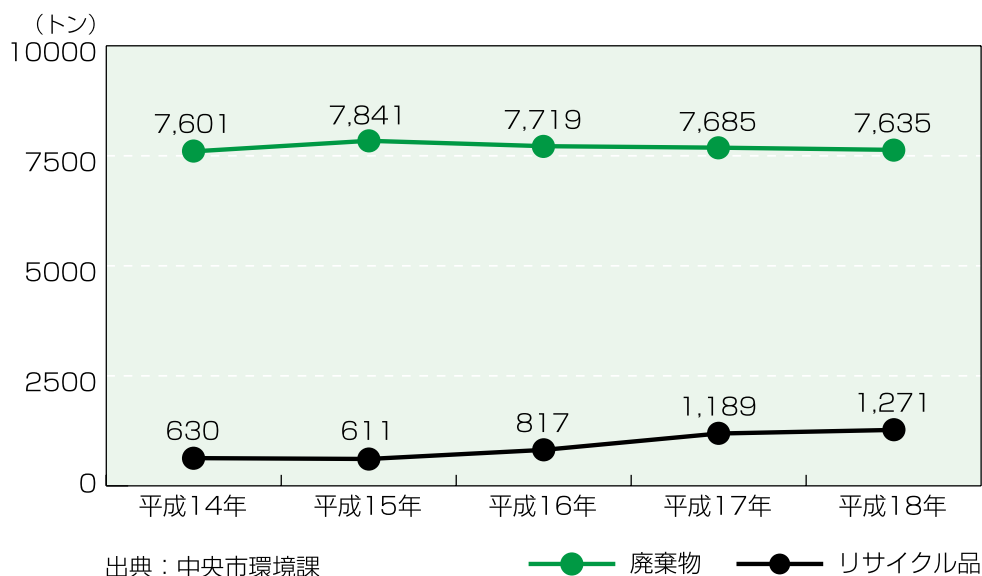
	乗用車	軽自動車	合計台数	1世帯あたりの台数
H11	15,901	6,840	22,741	2.09
H12	16,597	7,418	24,015	2.19
H13	16,856	8,113	24,969	2.27
H14	17,060	8,505	25,565	2.30
H15	17,175	8,798	25,973	2.30
H16	17,176	9,119	26,295	2.33
H17	17,187	9,058	26,245	2.31
H18	17,241	9,548	26,789	2.27

出典：県勢ダイジェスト（関東運輸局山梨運輸支局・山梨県軽自動車協会データより）

8 ゴミ処理量

本市では、燃えるごみや燃えないごみのいわゆる「一般ごみ」のほかに、ペットボトルやアルミ缶、ダンボールや新聞紙などの「リサイクル品」、市の指定袋に入りきらない「粗大ごみ」の大きく分けて3つの収集区分があります（市で収集しない廃棄物は除く）。リサイクル品は、平成14年からの4年間で2倍になるなど順調に増えているものの、一般ごみと粗大ごみを合わせた廃棄物量は約7,600 tと高止まりしています。リサイクルについては、各自治会のリサイクル収集日および3地区の庁舎それぞれに24時間リサイクルステーションを設置し、分別収集を呼びかけています。

■図2-1-18 ゴミ処理量の推移



玉穂庁舎に併設されている24時間リサイクルステーション

9 市内の各種施設について

市内の主な公共施設には次のものがあります。

○行政施設

中央市役所（田富庁舎、玉穂庁舎、豊富庁舎）、玉穂総合会館、田富総合会館、豊富郷土資料館、田富図書館、玉穂生涯学習館

○商業施設

道の駅とよみ、農産物直売所 た・から

○小中学校

三村小学校、玉穂南小学校、田富小学校、田富北小学校、田富南小学校、豊富小学校、玉穂中学校、田富中学校

○保育園

玉穂保育園、田富第一保育園、田富第二保育園、田富第三保育園、田富北保育園、豊富保育園

○児童館

玉穂中央児童館、玉穂北部児童館、玉穂西部児童館、田富中央児童館、田富わんぱく児童館、田富ひばり児童館、田富杉の子児童館、田富ひまわり児童館、田富つくし児童館、田富すみれ児童館、豊富児童館

○保健施設

田富健康管理センター、田富保健センター、田富福祉センター、田富福祉公園コミュニティセンター、豊富保健センター、豊富保健福祉センター、豊富デイサービスセンター

○スポーツ施設

玉穂市民体育館、玉穂B & G海洋センター、田富市民体育館、田富市民プール、与一弓道場、浅利テニスコート、農業者トレーニングセンター

○その他

玉穂学校給食共同調理場、（財）シルクの里振興公社、豊富農業者研修センター、田富小・中学校給食室、豊富中央公民館、田富よし原処理センター、豊富クリーンセンター、田富コミュニティ防災センター

第2部 中央市の地域特性に関する基礎調査
第1章 地域特性

